

皆さまに選ばれる まちを目指して

下野市長 広瀬 寿雄



新年あけましておめでとうございます。市民の皆さまにおかれましては、心健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、市政に対し格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年、下野市は市制施行15周年を迎えました。新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた記念事業を実施することはできませんでしたが、市民の皆さまとともに15年の節目を迎えられ、新たな未来へ向かって確かな一歩を踏み出したことに喜びを感じています。

昨年はもうひとつ、下野市にとって大変うれしいニュースがありました。東京2020オリンピック競技大会で柔道男子60kg級に出場した高藤直寿選手が、大会日本勢第1号となる悲願の金メダルを獲得し、市民に希望と感動を与えてくださいました。大会が1年延期となり、日常生活や練習環境の制限などもある状況下での金メダル獲得には、相当なご苦勞もあったことと思います。

今後も世界を舞台にますますご活躍されますようお祈り申し上げます。

さて、本市では昨年4月から、市政運営の総合的な推進のための基本方針である「第二次下野市総合計画後期基本計画」がスタートしました。

少子高齢化や人口減少の急速な進展、頻発する豪雨や台風などの自然災害に加え、いまだ収束に至っていない新型コロナウイルス感染症の感染拡大など、我が国を取り巻く社会経済情勢は大きく変化しております。また、ICTの急速な進歩により、AI等の先端技術によって人々の生活の質を高める動きが加速し、それに伴う新たなサービスが生まれつつあります。

このような社会の動向を的確に捉え、これまでの取り組みの成果検証や本市の課題を踏まえて、後期基本計画を策定したところです。

計画では、市が目指す将来像である「ともに築き 未来へつなぐ 幸せ実感都市」の実現に向け、本市が将来にわたり持続可能なまちづくりを行うための新たな取り組みを掲げております。今後も引き続き、多様化する課題やニーズに対応し、市民の皆さまにとって魅力ある「選ばれるまち」を目指し、市政運営に全力で取り組んでまいります。

皆さまには、なお一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、本年が皆さまにとりまして幸多く明るい年となりますよう心からお祈り申し上げ、年頭の挨拶といたします。

市議会の さらなる活性化へ

下野市議会議員 小谷野 晴夫



新年あけましておめでとうございます。市民の皆さまには、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年もコロナ禍での議会活動となりました。市民の皆さまのご理解とご協力を賜り、無事に議会運営できましたことを心よりお礼申し上げます。

また、新型コロナ感染予防として、多くの市民の皆さまにワクチン接種を受けていただき、医療関係者の皆さまにも最大のご協力をいただきました。感染拡大を抑制するためにご協力いただきましたすべての皆さまに、改めて心から感謝を申し上げます次第です。

さて、市議会では令和2年10月からタブレット端末を導入し、ペーパーレス化を進めてまいりました。4月から9月末までの半年間で、A4コピー用紙換算で約7万5,000枚の紙資源を削減することができただけでなく、タブレット端末を情報収集などに積極的に活用し、議員活動の活性化を図ることができました。

3月には、災害発生時の行動及び議会運営の基準をまとめた「下野市議会における災害発生時の業務継続計画（議会BCP）」を策定しました。6月にオンライン研修で理解を深め、8月にはタブレット端末を活用して災害を想定した安否確認訓練と情報提供訓練を行いました。

これらの取り組みの内容は、年4回発行している「議会だより」や、令和2年11月からスタートした「FMゆうがお」の議会情報番組「こんにちは！下野市議会です」の中で、議員自らが執筆・出演して情報をお届けします。番組は毎月末の月曜日に放送しておりますので、ぜひ多くの市民の皆さまにお聴きいただきたいと思います。

市民の皆さまとお会いして議会活動の報告や意見交換を行う「議会報告会」は、昨年度に続き実施することができませんでした。議会活動の報告については、今後ホームページ上で動画の配信を行う予定ですので、ぜひご覧ください。

今年も感染対策をとりながらの議会活動となりますが、議員全員が力を合わせ、「住みつけたいまち 下野市」となるよう働いてまいります。

今後とも市議会に対し、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新しい年が市民の皆さまお一人おひとりにとりまして笑顔あふれる一年となりますよう心からご祈念申し上げ、新年のあいさつといたします。